

事務事業名	真岡市音楽祭開催事業		担当	教育委員会 文化課 文化振興係	
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	7	文化芸術の振興と文化財の保護・継承
成果指標	名称		単位	3 年度実績	
	観客数（来場者＋動画視聴者） <small>参加者数(出演者・運営スタッフ)スタッフは出演しない団体から</small>		人	468	
			人	456	
事業概要	平成7年度に本市で開催された国民文化祭「吹奏楽の祭典」を契機に市民に音楽に関心をもってもらうため毎年11月に実施している。子供から一般団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭で、実施にあたり実行委員会を組織し、市の交付金により運営している。 小学校・中学校・高校が合同吹奏楽団等を構成して出演することにより、他校の児童生徒との貴重な交流の場となっていること、箏や和太鼓等幅広いジャンルの団体が参加する多彩な音楽祭という特徴がある。				
3 年度実績・成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、2日間に分散・時間短縮・小学生、幼稚園保護者各1名以外は基本的に無観客等、様々な感染対策を講じて実施した。中学生は不参加だった。 ・特に小学校の教員から、複数校での合同開催は取りまとめ等の負担が大きいとの声がある。 ・令和元年度までは、特別演奏として様々な分野のプロの演奏家を招いていたが、新型コロナウイルス感染症予防のため実施を見合わせた。 				
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・令和3年度の開催要項を踏襲するが、中学生も参加が可能となるようにするなど更に検討する。				